

平成28年度

第1回 苫小牧市公民館運営審議会 会議資料

- ・平成27年度 公民館事業実施状況及び利用状況
- ・平成28年度 公民館事業実施計画

勇 払 公 民 館

平成27年度 公民館事業実施状況及び利用状況

【勇払公民館】

事業等	平成27年度①		平成26年度②		増 減(①－②)		備 考
	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数	
主 催 事 業	25	131	27	288	▲ 2	▲ 157	【平成27年度の状況】 ・主催事業 前期(5～6月) 2講座 延べ10回 45人 後期(8～12月) 3講座 延べ14回 78人 機会講座(12月) 1講座 1回 8人 ・サークル活動 19サークル・その他団体 ・社会教育事業 図書コーナー業務 ・展示・その他 公民館まつり・サークルの展示
サークル活動	824	7,074	854	6,518	▲ 30	556	
貸 館 事 業	266	5,678	196	5,036	70	642	
社会教育事業	242	1,793	243	2,124	▲ 1	▲ 331	
展示・その他	3	611	3	698	0	▲ 87	
計	1,360	15,287	1,323	14,664	37	623	

平成28年度 勇払公民館事業実施計画

【推進方針】

地域における生涯学習の拠点施設として、他の関係機関等と連携を図りながら住民ニーズに応えた各種事業を推進するとともに、各種情報の提供、住民の学習・芸術・文化・社会参加活動の拠点となるよう機能の充実に努める。

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減 額	伸 率
予算総額	24,377千円	31,503千円	▲7,126千円	▲29.2%
内 訳	施設管理費	11,077千円	▲502千円	▲4.5%
	事業費	248千円	▲4千円	▲1.6%
	改修事業費	13,052千円	▲5,120千円	▲39.2%
	記念事業費	0千円	▲1,500千円	▲100%

目 標	推 進 方 策	事 業 名	事 業 内 容		期日・期間	会場・対象	予 算 額
学習活動の推進	各種講座や講習会等 市民の学習意欲に応 えた主催事業行の開催	1. 定期講座	① 講座数	2講座	前期 5月～6月	勇払公民館 一般市民	228千円
			② 募集人員	30人(各15人)			
			③ 講座名	・やさしいパン作り ・身体すっきり骨盤体操	後期 8月～10月	勇払公民館 一般市民	
			① 講座数	2講座			
		② 募集人員	30人(各15人)	随時 11、12月	勇払公民館 一般市民		
		③ 講座名	・おいしいパンと一品 ・身体すっきり骨盤体操				
2. 機会講座	① 講座数	1講座	勇払公民館 一般市民				
	② 募集人員	15人					
	③ 講座名	・おいしいお菓子作りと クリスマスケーキ作り					
芸術・文化活動 の推進	芸術・文化にふれる機 会事業の推進	施設の提供	芸術・文化活動発表の場として 施設の積極的な提供を図る。 公民館祭、文化祭		通年	勇払公民館 一般市民	20千円

目 標	推 進 方 策	事 業 名	事 業 内 容	期日・期間	会場・対象	予 算 額
市民の自主学習活動の推進	自主学習団体(サークル等)の育成と支援	1 サークル活動等の育成	① サークル等の活動の場の提供と助言 ② 公民館まつりの開催	通年 10月	勇払公民館 公民館サークル会員等	—
		2 個人学習の育成支援	① 学習活動のための情報収集及び提供 ② 図書コーナーの利用促進	通年	勇払公民館 一般市民	—
管理運営	施設の保全	1 施設維持管理	・清掃、管理業務 ・警備業務 ・温風暖房機等保守点検業務 ・給湯暖房機保守点検業務 ・ゴミ収集運搬処理業務 他	通年		7,066千円
		2 その他管理業務	消耗品費、光熱水費、修繕費等管理に要する経費	通年		4,011千円
臨時事業	施設改修事業	1 照明器具更新	・照明器具の更新 (約170基のLED化)	8月～		11,691千円
		2 備品整備事業	・講堂暗幕、カーテンレールの更新	8月～		1,361千円

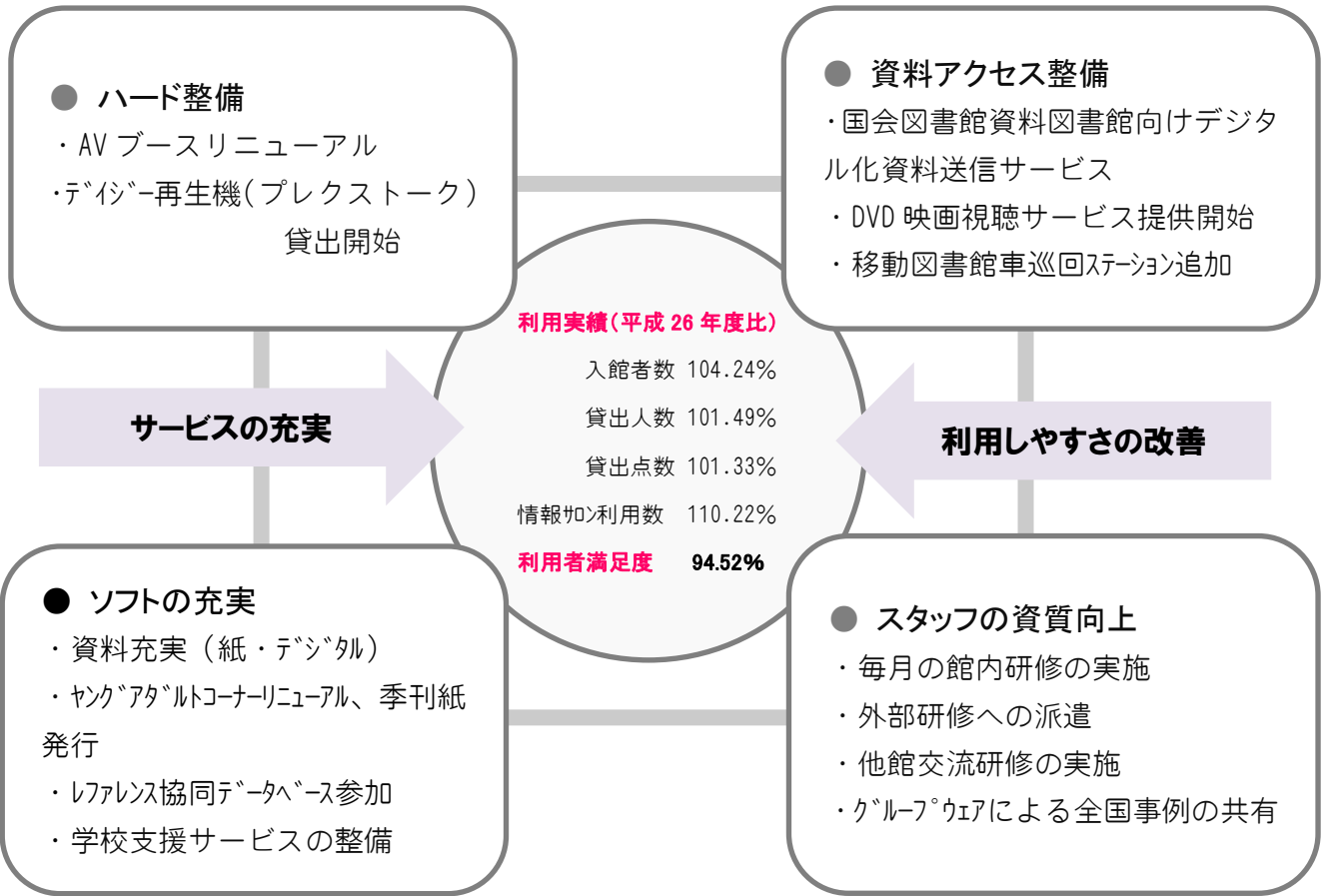
平成 28 年 5 月 26 日

指定管理者 TRC 苫小牧グループ

1 平成27年度事業報告

(1)主要事業報告

事業詳細 図書館要覧参照

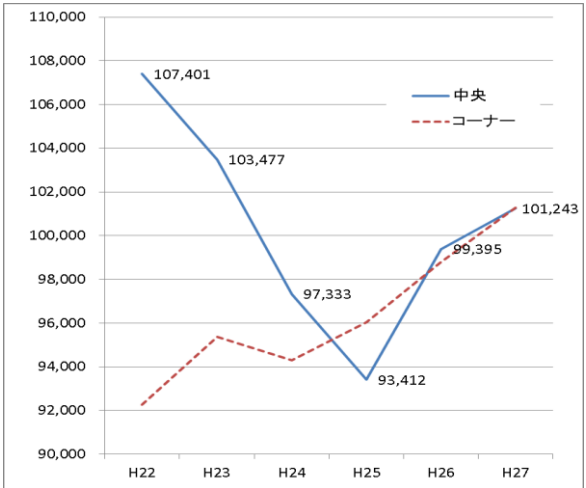


(2)利用統計

事業詳細 図書館要覧参照

● 主要サービス統計 (中央館分)

項目名	平成 26 年度	平成 27 年度	前年比
入館者数	292,334 人	304,739 人	104.24%
利用人数	95,463 人	96,890 人	101.49%
個人貸出点数	449,781 点	454,315 点	101.01%
団体貸出点数	14,226 点	15,973 点	112.28%
予約件数	65,988 点	70,662 点	107.08%
登録者人数	1,840 人	1,963 人	106.68%
情報館利用件数	12,997 件	14,325 件	110.22%
レファレンス件数	5,013 件	7,274 件	145.10%



2 平成28年度事業計画

(1) 主要事業概要

事業詳細 図書館要覧参照

事業名	開催日	概 要	共催等
青空図書館事業	8 月	ボランティア協力のもと開催する野外読み聞かせ事業	協力 図書館ボランティア
図書館利用講座	6 月	ビジネスパーソン向けの館内を巡る図書館利用ガイダンスツアー（ビジネス支援の一環として実施）	
文化セミナー事業	10 月	児童・保護者 絵本作家・真珠まりこさん講演会（予定）	共催 苫小牧読み聞かせ文庫活動連絡会
	12 月	古典講座「テーマ未定」森山弘毅氏（釧路公立大学名誉教授）	
イクメン講座	1 月	お父さん対象の読み聞かせ講座事業	
ソーシャルメディア活用講座	3 月	図書館サービスについて、参加者が ソーシャルメディアを用いて発信する体験型事業	

(2) 新規サービス

事業名	実施月	概 要
ビジネス支援サービス	6 月	ビジネスに利用可能な資料、情報収集とその活用事業
サピエ導入	7 月	視覚障害者および目で文字を読むことが困難な方々、見えにくい方々へ点字や音声データなどにより情報を提供するネットワークサービスの導入
地域情報サービス	10 月	苫小牧市ゆかりの人物/テーマに関して、所蔵資料と紐づけた形の紹介記事を作成、ホームページでの公開

2015 年（平成 27 年）04 月 17 日（金曜日） 苫小牧民報 3 ページ

報民牧小苦



図書館で映画を視聴できる

DVDは、図書館サロンドDVDコーナーで中央図書館、吉小牧市立中央図書館の2箇所で視聴でき、DVDの映画館でレンタルビデオを提供している。24時間5タイトルを貸せており、今後も更しんり考へ、併せ機器も更新し鑑賞を楽しんでもらう。

DVDは、図書館で視聴可能な作品から図書が選択可能。2007年度に洋画、邦画、アニメといった幅広いジャンル、制作年の作品をそろえたテレビ番組など視聴用器も更新

DVDブースは3台分設けられている。

作品リハートは同サロンで見ることができ同館は小さいお子さんから大人まで幅広く楽しんでいるたければと話していただく。

無料・予約不要。

苫小牧市立
中央図書館

DVD映画視聴サービス開始

視聴できる映画リスト（抜粋）

作品名 (五十音順)	制作年
アバター	2009
網走番外地	1965
アポロ13	1995
インディ・ジョーンズ (シリーズ)	1981～
X-メン (シリーズ)	2000
奥娘は魔女	2005
風が強く吹いている	2009
北の零年	2004
クライマーズ・ハイ	2008
ゴッドファーザー (シリーズ)	1972～
しあわせのパン	1972
幸福の黄色いハンカチ	1977
シンドラのリスト	1993
スタンド・バイ・ミー	1986
ダ・ヴィンチ・コード	2006
父と暮らせば	2004
ティファニーで朝食を	1961
ナイトミュージアム (シリーズ)	2006～
のぼうの城	2011
ノルウェイの森	2010
パイレーツ・オブ・カリビアン (シリーズ)	2003～
バック・トゥ・ザ・フューチャー (シリーズ)	1985～
氷点	1966
鉄道員 (ぼっぼや)	1999
ラブ・アクチュアリー	2003
レ・ミゼラブル	2012
ローマの休日	1953
ペネロペ (シリーズ)	
トーマン (シリーズ)	

2015 年（平成 27 年）04 月 22 日（水曜日）

苫小牧民報 第二社会面 14 ページ

2015 年（平成 27 年）05 月 29 日（金曜日）

苫小牧民報 第一社会面 21 ページ

2015年(平成27年)4月22日(水曜日)

(第3種郵便物認可)

全国図書館が情報共有
苫小牧市立中央図書館も参加

も閲覧でき、同様の情報を求めている人が有益な情報を得ることができる。

市立中央図書館ではレファレンス対応事例が年間に約5000件（2014年度）あ

談すると、目的に見合う資料、
 圖書の情報司書が提示して
 くれるサービス。インターネ
 ットの協同サービスは、実際
 に寄せられた事例を紹介し、
 情報共有する場。全国の公立
 や大学の図書館657館が参
 加しており、ネット上で誰で

吉小牧市立中央図書館
運営するレファレンス協
サービスは全国の参加図
インターネット上で公開
スの利用促進などにつな
グする。

は4月、国立国会図書館が同サーピスに参加した。同書館のレファレンス情報を取り組み、レファレンス

紹介するだけで、幅広に公開
 しているなかで、同館は全
 国で見るとトップレベルの
 利用は増えており、情報を
 オープンにしたが利用を促
 すで検索する。

民報

2015年(平成27年)5月29日(金曜日)

苦小牧市立 国会図書館資料
中央図書館
送信サービス運用へ



苫小牧市立中央図書館のパソコンで、国立国会図書館の資料が閲覧できる

2日から

138万点、サービス向上へ

苫小牧市立中央図書館（野村一館長）は6月2日、国立図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」の運用を開始した。これまで国立図書館に送られなければならない8万点の資料を、中央図書館のパソコンで閲覧できるようにする。目次検索のため、膨大な資料の中から目的の情報を得られやすく、書類は「利用者サービス」の向になつてほしいといふ。

古い資料も閲覧可能に

す。調べたいことを書面に相談すると、関連資料などを探してくれるレファレンスサービスの利用促進も期待される。

デジタル化資料の利用は、
は一枚10円。

中高生向け図書充実へ

「本棚移設や
「通信」発行

“お薦め本コーナー”に手応え

苦小牧市立中央図書館

館蔵資料一括引込は、他の年代と比較して利用のない中高生に、より図書館に足を運んでもらおうと、ヤングアダルト(YA)コーナーの充実を力を注いでいる。中高生向けの蔵書施やしているほか、8月にはコーナーを大幅にリニューアル。今月から年4回、YA展覧会も発行する予定で、利用促進を図っていく。

な仲間だが、それに加えては、YAコーナーの場が興まつた場所にあるほか、蔵書も古くなつていたり、10代の蔵書やヤングがなくて、道楽部は「中央、高校生の時期だからこそ脱離、人間関係、恋愛の悩など

自分たちにも利用できぬ施設が自分的にもある。図書館であるといふことを知ってもいいので、多くの中学生が来たり、周りをくまなく見たり、勝手に読むものがある（図書館にすぎない）」と話す。こうした考えに基づき、指定図書若くは購入入読になる

ルトコーナー

これを踏まえ、8月はY
Aコーナを大幅にリニューアルし、本朝を児童コーナ
横たえ、通路沿いの立っ
場所移設、分散していた中
高生向けの図書を集め、30
はし部数をそろえた。小
の壁面を走らせ、友愛館
の壁面などに対応する図書
並べ、新刊の購入も意識的

同館の2014年度の年代別延べ貸し出し人数は中高生(13~18歳)で5445人、小学生(7~12歳)は2万人弱、年齢の区分は異なるが、30代、40代は各3万人前後に上り、他の年代と比べて最も利用が少ない。

中高生は勉強や部活で忙しく、利用が少ないのは全国的



充実させたヤングアダルトコーナー

[illegible]

行する。中高生の手に渡りやすい方法も検討している。菅野館長は「子供の頃は本を読んでも、大人になる段階で読まなくなっていくことがある。児童書と一般書の間のサービスを充実させることでその間の年代の読書をつなぐ」ということにもつながれば」と話している。

立市牧小
館書圖央中

10代向けに図書紹介
季刊紙「ワイエーツウシン」発行



新たに発行した季刊紙

を使いおしやれなビジュアルにこだわった。

代の図書館の利用促進につなげようと季刊紙「ワイエツツウシン」を発行した。A5判の4ページでお薦めの図書やイベント内容などを紹介しており、市内のすべての中学・高校にも配布した。

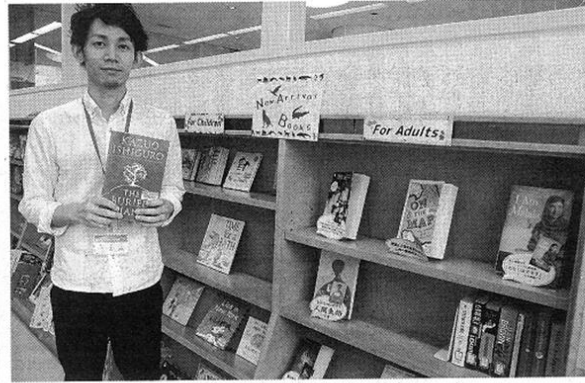
を使いおしやれないビジネスアルにこだわった。

ワイエーはヤングアダルトの略称。同館の利用が少ないうえにも、同館を運ぶまでもなくおとな作成、担当司書が、同館が所蔵するお薦め本をピックアップ。第1号では「空想科学読本(柳田理科雄)や15歳のワイルドール(道幸哲也)著、雑誌「Katsunaku」2012年夏号」など8冊を掲載しているほか、リニューアルした同館のコーナー紹介もしている。クラブ紙

季刊紙は市内の全中学、高校の図書室に置き自由に持っていくてもらうほか、ホームページでも見られる。年4回発行し、次回は10月に発行予定。同館は「これを見て本や図書館に興味を持ってもらえればうれしい」と話している。

苫小牧市立中央図書館

洋書コーナーに図書追加 「アナ雪」も



ベストセラー本などを揃えた洋書コーナー

苫小牧市立中央図書館は、このほど、洋書コーナーをリニューアルした。新たに60冊を追加。「アナと雪の女王」など外国でベストセラーになっている本や日本の小説の英語版などをそろえている。

10代向けのヤングアダルトコーナーに隣接する場所に設置し、600冊を並べている。これまでも洋書コーナーはあったが、より興味を持つてもらえるよう、「アナと雪の女王」やステイプ・ジョブス

の自伝、映画化された「リール」、太宰治や村上春樹などの日本の作家の著書、絵本などを追加。手に取ってもらいやすいよう、ポップで内容も紹介している。

菅野耕一館長は「学校でも英語を教えており、子供にも英語が身近なものになっている中でリニューアルした。潜在的な需要があると考えてお

2015年（平成27年）08月31日（月曜日） 苫小牧民報 第二社会面 16ページ

2015年（平成27年）09月17日（水曜日） 苫小牧民報 第二社会面 18ページ

苫小牧民報 2015年9月17日

絵本作家・くすのきしげのりさん講演

「子供の心を育むには」



子どもの豊かな心を育む大切さを話したくすのきさん

苫小牧

苫小牧市立中央図書館と苫小牧読み聞かせ文庫活動連絡会は13日、同館で絵本作家のくすのきしげのりさんを招いた講演会を開いた。80人が来場。くすのきさんは、子どもたちの揺れ動く心を捉え、相手を思いやる心を育む大切さを話した。

くすのきさんは徳島県在住。教員経験を生かし、大人が見過ごしてしまいがちな子どもたちの心の動きを捉えた絵本を作り続けている。この日は、自作の絵本の読み聞かせを交えながら「絵本で伝わる子どもの気持ち」をテーマに講演。「大人は『最近の子どもは』と大きくくつつてしまいがちだが、子どもたち一人ひとりに一つずつ、その時々で揺れ動く心があ

る」とし、「自分の思いや考えを伝える力を育むことも大事だが、想像する力、共感する力がそれ以上に大事。相手の心を思いやる力を付けてあげたい」と話した。

豊かな心を育んだり、見えにくい精神的な豊かさを確認するヒントとして「職業を問う『あなたは何になりたいか』より、生き方を問う『どんな人になりたいか』とたくさん子どもに問い掛けてあげて」と呼び掛けた。

移動巡回バス 民間施設3カ所追加 ステーション

大型店や新聞販売店の集客に期待

苦小牧市立中央図書館は10月から、移動巡回バス「まちヨップ図書館号」のステーションにイオンモール苦小牧(柳町3)、コープさつぽろバゼオ川治店(川治町6)、苦小牧民報佐野販売店(北栄町2)の3カ所を加える。集客力がある民間施設に停車することで、より多くの人にサービスを利用してもらおうという狙いだ。

巡回バスは同館やコミュニティセンターの図書コーナーまでを運ばなくても気軽に本を借りられるよう同館が44年間続けている取り組み。2012年にはトヨタ自動車北海道からバスの寄贈を受け、「まちヨップ図書館号」として新たなスタートを切った。3000冊の本を積んだバスが火曜・金曜、市内全域の公園などに設けた22のステーションに20分〜1時間程度停車し、本を貸し出している。

これまでステーションは主



停車ステーションが増える巡回バス

に公園や小学校だったが「すてきに人が集まっている場所にバスが行くと、より多くの人にサービスを知ってほしい」と同館が協力を呼び掛け、民間施設側が賛同。10月からは第1、3火曜午後1時半〜同2時に佐野販売店(初回10月6日、第2、4火曜午前10時〜同2時に佐野販売店)以外にも新規利用登録や本の返却、本の予約も可能。問い合わせは同館 電話0144-(35)0511。

わせたは同館 電話0144-(35)0511。

2015年(平成27年)10月7日(水曜日) 苦小牧民報 まちかど・学園 13ページ

苦小牧市立中央図書館

梨木香歩さん講演 中央図書館

子ども育む精神が大切

苦小牧市中央図書館は4日、小説家・児童文学作家の梨木香歩さんを講師に講演会「時代と生きるために」を開催した。市民約90人が来館して子供たちと本の時代背景についての講演を聴いた。

講演は、図書館のスタッフが梨木さんの作品を愛読している内容の手紙を出したのを契機に行われた。図書館2階の講堂には、作品のファンなどが多数詰め掛けた。梨木さんは、小学生など子供たちに必要な精神を訴えていた。

が地域とのきずなを失いつつある現状を憂いていた。子供に自然科学の素晴らしさを伝えるために1950年に刊行された「科学の事典」や岩波文庫に収められている吉野源三郎の著作「君たちはどう生きるか」など昔出版された上質な子供向け本を紹介。

梨木さんは「自分たちより年若いものを育もうとする心こそがヒューマニズム」と現代社会に必要な精神を訴えていた。



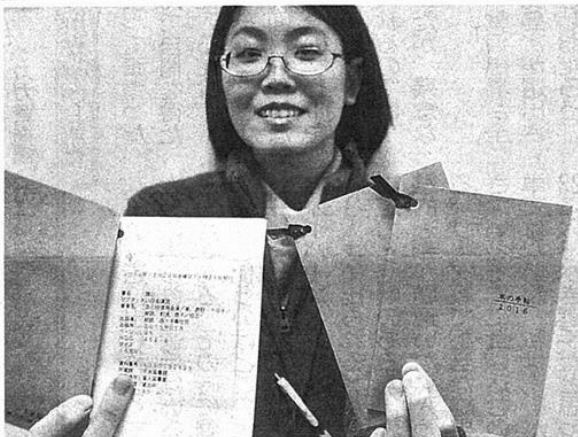
多くの市民が詰め掛けた講演会

2015年(平成27年)10月7日(水曜日) 苦小牧民報 まちかど・学園 13ページ

読書の足跡を

大人も残そう

苫小牧市立中央図書館が200部限定で配布を始めた冊子「本の手帖」



市中央図書館が「手帖」配布

苫小牧市立中央図書館は5日、読んだ本を記録する冊子「本の手帖」の無料配布を始めた。本を借りる際に発行されるレシートを貼り付けていく。同館は「自分がどんな本を読んだのか、記録するのに役立ててもらいたい」と話す。

同館は、読書のきっかけづくりで、子供向けの記録冊子「ぶつく・のーと」を2014年から配布している。「大人向けのものはないのか」との声が寄せられたため、手作りの手帖を配布した。

本の手帖は文庫サイズで12ページ。表紙は手触りのいいクラフト紙で、ひもでとじる。ページ部分は同館ホームページからダウンロードして増やせる。限定200冊で、なくなり次第終了。5日午後4時で残り約100部に。

（田鍋里奈）

市立中央図書館で文化セミナー

村井さん 自然観察で講演

自然の変化を捉えることの楽しさを語る村井氏



苫小牧市立中央図書館は6日、図書館文化セミナー（郷土講座）を開いた。ゆうふつ原野自然情報センターを主宰する村井雅之さんが「ナチュラリスト志願」を演題に身近な自然の変化を日々観察し、記録をし続けることの楽しさや意義を語った。

村井さんは「ナチュラリストになるにはペンとメモと好奇心があればいい」と説明。家を出て買い物に行くまでの道など身近な自然に日々目を向け、それを記録することで「情報は、あなたが死んだ後も、誰でも使える情報としてずっと残る。それがとても大事」と話した。

また「苫小牧の良いところ

苫小牧市立中央図書館 評価と点検について

指定管理者 TRC 苫小牧グループ

【参 考】

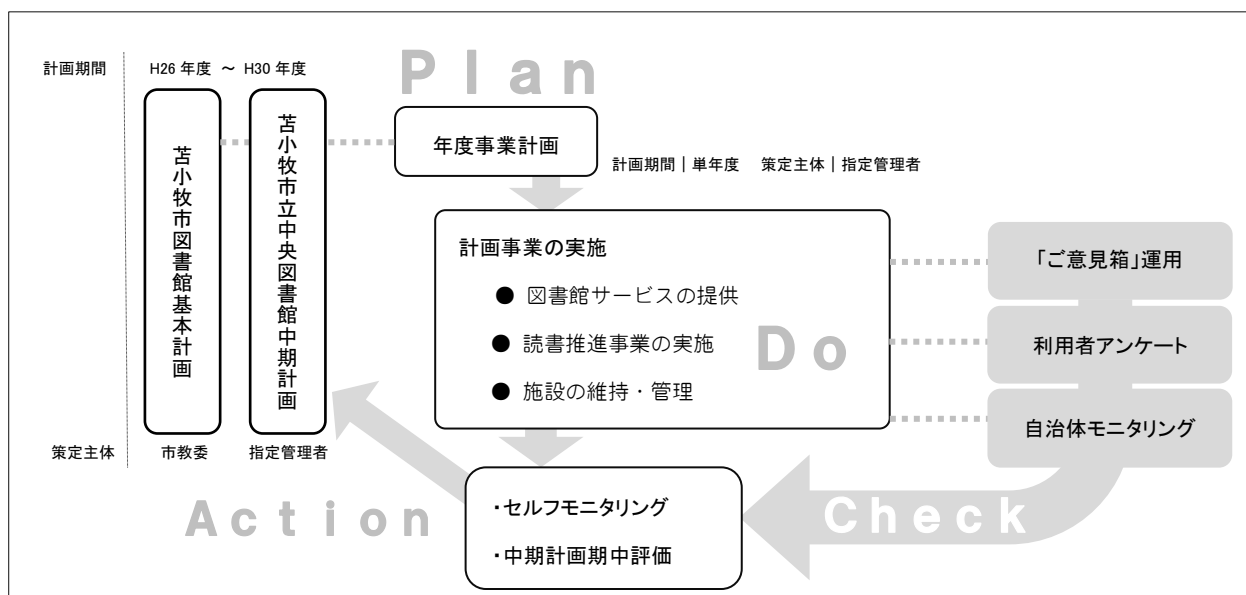
「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」(平成24年12月19日文部科学省告示第172号)

第二―1―1―(二)運営の状況に関する点検及び評価等

- 1 市町村立図書館は、基本的運営方針に基づいた運営がなされることを確保し、その事業の水準の向上を図るため、各年度の図書館サービスその他図書館の運営の状況について、(一)の2の目標及び事業計画の達成状況等に関し自ら点検及び評価を行うよう努めなければならない。

1 平成27年度 セルフモニタリング実施結果

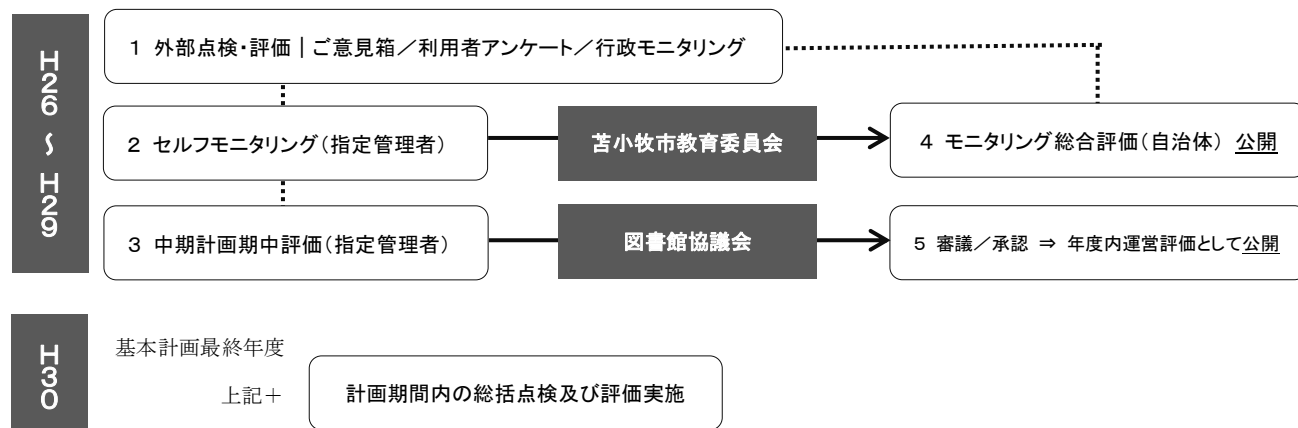
(1)セルフモニタリング実施スキーム



(2)平成27年度セルフモニタリング実施結果

別紙「苫小牧市立中央図書館中期計画・期中評価表」のとおり

2 点検・評価の実施方法について



苦小牧市立中央図書館 中期計画 期中評価表(第2期 平成27年度)

中期計画内で予定した平成27年度の取組について、指標達成度を自己評価します。

中期計画 基本目標	No.	目標内容				
	I	情報と知識を集積した知の情報拠点としての図書館				
	II	読書活動推進、支援拠点としての図書館				
	III	市民が利用しやすく役立つ図書館				
	IV	郷土の歴史と特性を大切にし、豊かな市民文化を創造する図書館				
	V	人と本、人と人の出会いを広げ、ゆとりとぬくもりを感じられる図書館				

I 情報と知識を集積した知の情報拠点としての図書館					
事業名	具体内容(指標関連項目)	実施	アウトカム指標		実績 適否
蔵書整備事業	収集計画に基づく計画的／適切な資料購入	○	貸出点数 前年比102%	102%	適
	相互貸借による未購入資料の提供	○	相互貸借 前年比102%	104%	適
インターネットサービス	7p0w、Facebook等による情報発信	○	HPアクセス数 前年比102%	121%	適
			web予約 前年比102%	111%	適
ICT環境の整備	iPad利用講座の開講	○	サロ利用数 前年比105%	110%	適
	音楽コンテンツ配信サービスの導入		サービス利用数 前年比 102%	157%	適
	電子図書館（TRC-DL）の導入／運用			98%	否
基本計画成果指標	指標算出方法	基準値（H24）	目標値（H30）	当年実績	達成率
蔵書冊数	蔵書冊数（全館）／奉仕人口数	2.8点	2.9点	2.9点	100.00%
貸出数	貸出点数(全館)／奉仕人口数	5.1点	5.5点	5.1点	92.27%
自己評価					
予定事業は全て実施。昨年度同様蔵書整備費の適正執行により資料の充実、デジタル情報提供サービスを進め、電子図書館利用を除く指標を達成。電子図書館利用に関しては、若干利用状況が落ちたため、今後は具体的に電子図書館の利便性、操作に関するPRを図り利用向上に努める。 貸出は前年増となったが、イベント時にPRをする等により、新規登録者の開拓を行うことでさらなる増加を目指す。					

II 読書活動推進、支援拠点としての図書館					
事業名	具体内容(指標関連項目)	実施	アウトカム指標		実績 適否
児童の読書環境整備	ヤングアダルトコーナーの運営	○	個人貸出（13-18歳） 前年比101%	103%	適
	乳幼児コーナーの充実	○	個人貸出（0-6歳） 前年比102%	107%	適
学校支援事業	スクールメール便事業の充実	○	貸出件数 前年比110%	91%	否
	学校図書館支援メニューの策定	○	団体貸出 前年比102%	111%	適
	苦教研図書館研究部会との連携	○			
	図書館を使った調べるコンクールの運営	○	レファレンス対応件数 前年比103%	145%	適
コーナー支援事業	コーナー図書室と連携した全域サービス	○	全館貸出点数 前年比101%	102%	適
団体支援事業	市内読み聞かせ団体との連携	○	(指標設定なし)		—
	市内保育施設等に対する読書推進支援	○	BM0-6歳利用数 前年比102%	86%	否
アウトリーチサービス	大活字資料の充実	○	(指標設定なし)		—
	対面朗読サービスの運営	○	(指標設定なし)		—
	視覚障がい者サービス用機器の充実	○	(指標設定なし)		—
基本計画成果指標	指標算出方法	基準値（H24）	目標値（H30）	当年実績	達成率
児童貸出点数	対象年度内の子ども（0～18歳）の貸出点数	160,000点	176,000点	171,514点	97.45%
ブックちゃん貸出件数		150件	250件	99件	39.60%
録音図書蔵書点数		5,567件	6,000件	3,692件	61.53%
自己評価					
昨年度に引き続きYA世代に対する利用基盤づくりをもとに、YA世代対象の図書館報「リトマス」の発行を開始。YA世代の利用を意識した選書に努め、昨年度に続き10代利用増加の結果を得た。 学校支援事業に関しては学校図書館部会と連携し、学校図書館ボランティア向け研修会、図書交流委員会等を共催し協力関係を深めた。 小学校関連取組に関しては、団体貸出は学校図書館部会と連携、周知を行うことで前年比増を達成。スクールメール便ブックちゃんは、昨年同様周知に努めたが貸出減となったため、ブックちゃんのセット増、申込用紙の見直し等改善を図った。今後も学校支援メニューの増強により、利用増を目指す。					

Ⅲ 市民が利用しやすく、役立つ図書館

事業名	具体内容(指標関連項目)	実施	アウトカム指標	実績	適否
ユーザビリティ向上事業	乳幼児／保護者サービス	○	新規登録者数 前年比103%	107%	適
	障がい者サービス	○			
	高齢者サービス	○			
資料情報の発信	パスファインダーの作成／配布	○	年次2テーマの作成 (H27年度～)	「年中行事」 「あいさつ ・スピーチ」	適
課題解決サービス	リファレンス協同データベースへの参加	○	リファレンス対応件数 前年比105%	145%	適
	リファレンス研修の実施	○			
利用環境整備事業	利用ニーズの把握、及び運営への反映	○	利用者満足度 前年比101%	100%	否
	リラックススペースの設置運用	○	(指標設定なし)	H27年4月設置	適
基本計画成果指標	指標算出方法	基準値 (H24)	目標値 (H30)	当年実績	達成率
リファレンス受付件数		3,888件	5,000件	7,274件	145.48%

自己評価

昨年度同様、当初計画は全て実施。特に新規登録者数は前年比107%増と目標を大きく上回る結果となった。次年度はイベント時に図書館利用について説明する時間を設けるなど、具体的な働きかけにより利用増を目指す。

モニタリング実施要領に定められる「利用者アンケート」においては、満足度平均94.52%と前年度より高い評価を頂いたが、指標目標101%を超える結果には至らなかった。今後ともご意見箱やアンケートから利用者のニーズをきめ細かくくみ取りサービス改善を進めたい。

Ⅳ 郷土の歴史と特性を大切に、豊かな市民文化を創造する図書館

事業名	具体内容(指標関連項目)	実施	アウトカム指標	実績	適否
郷土資料収集事業	苫小牧・北海道に関する資料の継続的収集	○	郷土レファレンス件数 前年比105%	65%	否
地域デジタル情報の配信	地域デジタルコンテンツの作成	○	コンテンツアクセス数 前年比102%	101%	否
郷土連携事業	郷土講座の開講	○	(指標設定なし)	2講座参加者数80名	適
基本計画成果指標	指標算出方法	基準値 (H24)	目標値 (H30)	当年実績	達成率
郷土行政資料点数		31,120点	33,000点	32,639点	98.91%
郷土行政資料のデジタル資料件数		9,731件	10,000件	9,794件	97.94%

自己評価

郷土資料の収集の充実に加え、昨年度は未実施であった自館資料の新規デジタルコンテンツを作成。また地域に密着した講師を迎え、郷土講座を開講。郷土レファレンス件数が減じているが、次年度以降は参考図書郷土行政資料室のPRを積極的に行うことにより、利用率、レファレンス件数のアップを狙う。

V 人と本、人と人の出会いを広げ、ゆとりとぬくもりが感じられる図書館

事業名	具体内容(指標関連項目)	実施	アウトカム指標		実績	適否
リラックススペース設置運用事業	リラックススペースとしての活用	○	(指標設定なし)		各団体の事業活用	—
市民協働事業	ボランティア活動領域の拡大	○	(指標設定なし)		・70アークボランティア 事業協力ボランティア導 入 ・ボランティア講座開講 ・情報交換会開催 ・共催事業の充実	—
	ボランティア養成講座の開講	○				
	既存ボランティア団体の活動支援	○				
	市民協働事業の推進	○				
研修事業	接遇の向上	○	利用者満足度 前年比101%		100%	否
	危機管理	○				
	専門サービス	○				
基本計画成果指標	指標算出方法	基準値 (H24)		目標値 (H30)	当年実績	達成率
講座・講演会等の事業参加者数	年間行事等の延べ参加者数	2,793人		3,300人	3,765人	114.09%
図書館ボランティア数		83人		100人	120人	120.00%

自己評価

団体、ボランティアとの市民協働事業及びスタッフのスキルアップに係る研修事業においては、読み聞かせ、修理ボランティア、フロアワークボランティアの方々に積極的に参加いただき、良い協力関係を築くことが出来た。「ボランティア養成講座」については、個人ボランティアの新規登録を行った。

研修事業に関しては、月次自主研修12本、外部研修13本へ参加。運営2年目にあたり、研修効果によりスタッフのスキルアップが図られ、利用者満足度が昨年度より増となる結果につながったと自己評価する。

平成27年度年度総合評価

年度内における計画取組を遺漏なく実施した。ハード面に重きを置いた前年度の取組に続き、本年度は学校、各団体、ボランティア等、関係機関との連携に重点を置き、市民協働に注力した。

昨年度に引き続き、入館者数、貸出利用など主軸となる指標は概ね増加の結果となり、併せて利用者アンケートに関しても高い満足度を頂くことが出来た。

実績値の不足した項目については、次年度以降の取組への具体的な重点課題として受け止めるとともに、継続課題として「参考図書郷土行政資料室の利用促進」「市内小学校、学校図書館との連携強化、協力」を設定する。

平成27年度利用者アンケート実施結果報告

「指定管理者におけるモニタリング実施要領」2－（2）の規定に基づき、以下のとおり利用者アンケートを実施しましたので、報告いたします。
なお、アンケート用紙につきましても別途添付いたしますので、ご査収ください。

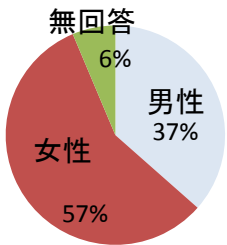
1 実施概要

実施期間	2015年10月10日（土）～17日（土） 8日間
実施方法	カウンター利用者に用紙配布し、館内設置の回収箱にて回収を行いました。
配布枚数	500枚
有効回答数	378枚（回答率 75.60％）
満足度	94.52％

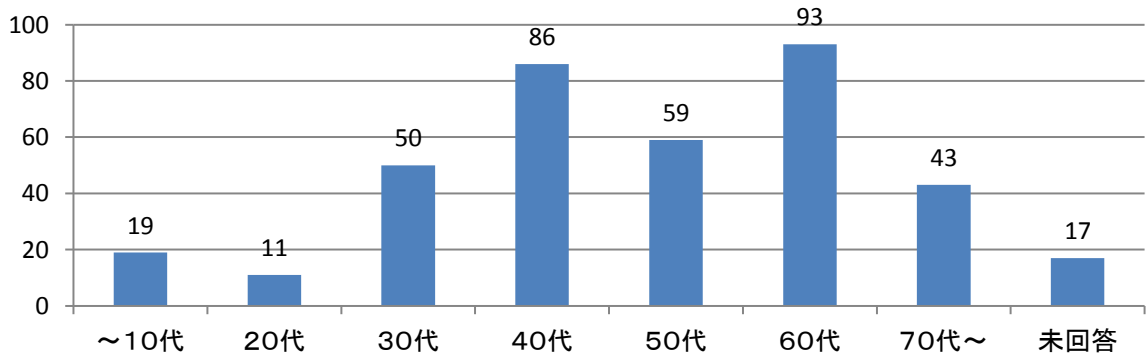
2 回答者の属性統計

(1) 性別

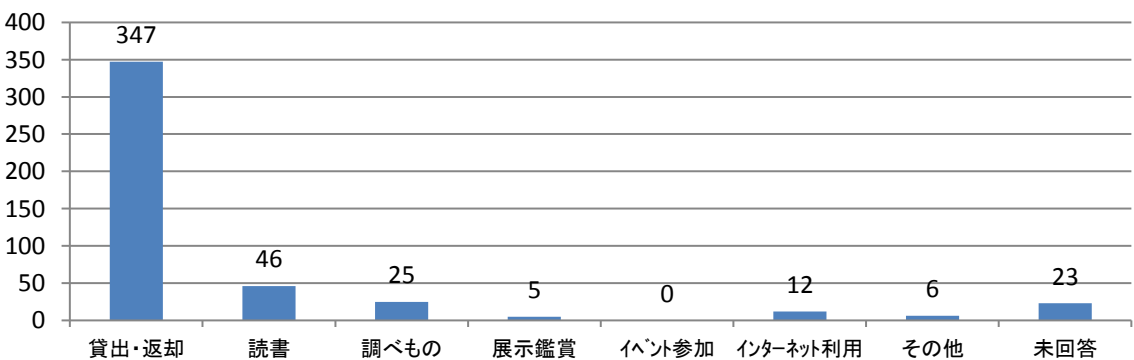
性別	回答数
男性	138
女性	216
無回答	24
有効回答数	354



(2) 年代



(3) 来館目的



男女比はおおよそ4：6となり、分布年代は60代、40代が主という結果になりました。男女に関しては、女性回答者に傾斜しましたが、年代に関しては概ね図書館の利用傾向と相違ない結果となりました。来館目的については、「貸出・返却」が約9割を占め、昨年同様貸出中心の利用傾向は昨年と変わらない結果となりました。

3 満足度調査

No.	調査項目	満足	やや満足	やや不満	不満	有効回答数計	満足度
1	図書館は利用しやすいですか	245	122	6	1	374	98.13%
2	館内のどこに何があるか、わかりやすいですか	113	204	49	3	369	85.91%
3	利用登録や予約などの申し込みはしやすいですか	196	120	19	6	341	92.67%
4	職員の対応（挨拶・お声掛け等）はいかがですか	298	72	4	2	376	98.40%
5	館内は清潔にたもたれていますか	316	56	2	1	375	99.20%
6	開館日の設定は利用しやすいですか	261	93	16	3	373	94.91%
7	開館時間の設定は利用しやすいですか	269	80	22	2	373	93.57%
8	イベントや講座等の内容は充実していますか	122	170	25	4	321	90.97%
9	施設の備品や器具はつかいやすいですか	172	156	19	2	349	93.98%
10	施設全般について、つかいやすいですか	205	148	10	2	365	96.71%
全回答計		2,197	1,221	172	26	3,616	94.52%
分布比率		60.76%	33.77%	4.76%	0.72%	100.00%	

満足度算出方法 ＝ （「満足」回答者数+「やや満足回答者数」）÷有効回答数計

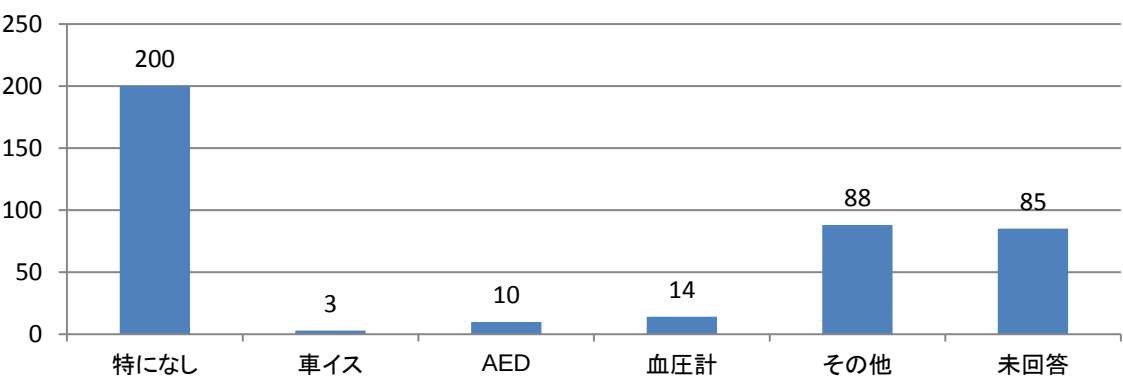
● 結果分析

全項目平均で94.52%となり、僅かではありますが前年度から0.2ポイントアップし、非常に高い満足度をいただくことができました。

詳細を分析すると、満足度の高い項目に関しては変わらず施設面に関する者が主となっております。また下位項目に関しては、昨年同様「館内のわかりやすさ」が努力項目となりました。今回の結果を受け、次ページに改善策を講じております。

いずれにしても、制度導入2年目も利用の方々から一定の評価を頂き、利用の方々から変わらないご理解を得られた結果を得ることが出来たと分析します。

4 設備・備品等の要望



特になしという回答がほとんどでしたが、車イス／AED／血圧計については既に設置・導入いたしました。

5 その他

フリー記入欄への回答内容
別添「フリー回答欄記入結果一覧」のとおり報告します。

6 改善項目

集計結果を受けて、評価下位項目について、以下の改善策を講じました。

課題内容	改善策	実施月
サインの充実	2階案内図・事務室案内表示の変更	11月/12月
施設内利便率向上	ベビーチェアの導入	3月
ソフト事業の充実	大人向けの読書手帖（本の手帖）作成配布	1月
	次年度事業計画における事業内容充実	2月